



学校法人近畿大学弘徳学園  
近大姫路大学  
近畿大学豊岡短期大学  
こうのとり認定こども園

# 平成27年度 事業計画書

学校法人 近畿大学弘徳学園

## I 法人の概要

### (1) 学園設立とあゆみ

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立した。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、3つの学校を運営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設した。

本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園を運営する学園となった。

加えて、平成26年4月に保育園を開園し、幼保連携型認定こども園を開設したが、平成27年度からは、新幼保連携型認定こども園に移行する予定である。

### (2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とする。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めている。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

## II 事業計画の概要

### (1) 予算編成の基本方針

平成27年度予算編成における基本方針とその概要について

平成 26年10月 1日

近畿大学弘徳学園 法人本部

#### ○平成27年度予算編成の基本方針

私学を取り巻く環境は、18歳人口の減少により大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私学経営は大変難しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ内容の充実を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、平成27年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

#### 事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

#### 収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

#### 経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本としている
- 物品調達等の重要性と必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を算定している

## (2) 主な事業の目的・計画等

① 平成27年度の主な事業計画に係る経費は別表の通りである

別 表

(単位：千円)

事業No	対象学校	事業名	予算額
12701	近大姫路大学	近大姫路大学新2号棟建築工事	1,597,425
12702	近大姫路大学	近大姫路大学新2号棟竣工記念式典・祝賀会	2,155
12703	近大姫路大学	クラウド型学習支援システム及び教職履修カルテシステム	19,388
12704	近大姫路大学	近大姫路大学通信教育部テニス部遠征業務等委託	18,000
12705	近大姫路大学	近大姫路大学硬式庭球部用公用車の購入について	4,000
12706	豊岡短期大学	情報処理教室機器整備	30,000
12707	豊岡短期大学	研究室パソコン更新	3,500
12708	豊岡短期大学	保育室（プレイルーム）整備	8,000
12709	豊岡短期大学	公開講座（音楽リサイタル）実施	2,640
12710	近大姫路大学	2号棟給水切替工事の実施について	4,212
12711	近大姫路大学	人文学・人権教育研究所学術雑誌の発行について	2,150
12711-2	近大姫路大学	人文学・人権教育研究所講演会の開催について	802
12711-3	近大姫路大学	学術講座	197
12711-4	近大姫路大学	ブックレット「近大姫路双書」の発行	456
12712	近大姫路大学	近大姫路大学看護師等国家試験対策について	9,604
12713	近大姫路大学	グローバル看護フォーラム	211
12714	近大姫路大学	学内病院合同説明会	622
12715	豊岡短期大学	和花季会館電動椅子部品修理	1,000
12716	近大姫路大学	インターネット出願システム導入	1,758

事業No	対象学校	事業名	予算額
12717	近大姫路大学	緊急時防災用品の購入（継続事業）	1,000
12718	豊岡短期大学	和花季ひろば	1,132
12719	豊岡短期大学	こどもフェスタ2015	300
12720	近大姫路大学	システム改修	2,500
12721	豊岡短期大学	豊岡短大通信教育部教務システムカスタマイズについて	4,000
12722	近大姫路大学	壁面書架増設	2,500
12723	近大姫路大学	教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	1,947
12724	近大姫路大学	海外留学・研修のための事前調査	1,000
12725	近大姫路大学	近大姫路大学1号棟4階講義室改修工事について	4,623
12726	豊岡短期大学	豊岡短大教員研究室内装改修	6,000
12727	近大姫路大学	看護学部FD部会主催講演会経費	178
12728	法人本部	新規採用職員募集に伴う広告費	1,000
12729	近大姫路大学	近大姫路大学喫煙室の整備	1,800
12730	豊岡短期大学	豊岡短期大学害獣（いのしし他）防護柵設置	8,000
12731	法人本部	（仮称）但馬牛プロジェクト	380,000
事業合計			2,122,100

② 平成27年度の主な事業計画に係る概要説明

（イ）（仮称）但馬牛プロジェクト

本学園では、地域社会への貢献と但馬地域の伝統産業である、但馬牛の種の保存を目的としたプロジェクトを計画している。平成27年度には、牛舎等建築整備を計画している。

## >>施設設備に関する主な事業

### (イ) 豊岡短期大学における改修工事

豊岡短期大学の本館校舎は昭和42年に建築された旧耐震建築物であったため、平成26年度に耐震補強工事を完了したが、本年度は研究室など経年劣化が激しい本館の内装などを改修する計画である。

保育士養成の観点から、保育実践教育の場である「プレイルーム（保育室）」の設置を計画している。

また、イノシシなどの害獣被害対策として、防護柵を設置する予定である。

### (ロ) 近大姫路大学新2号棟建築工事

近大姫路大学の新2号棟は、平成26年度に着工しており、平成28年2月に竣工予定である。

### (ハ) 豊岡短期大学情報機器の整備

豊岡短期大学の情報処理教室の機器は陳腐化が進んでいるため、授業環境の向上のため、最新の情報機器に更新を予定している。

また、研究室に研究用として貸与している情報機器についても、同じく陳腐化が進んでいるため、更新を予定している。

### (ニ) 近大姫路大学硬式庭球部

近大姫路大学硬式庭球部の今後の活動において、専用の公用車が必要不可欠であることから、大型ワゴン車の購入を予定している。

加えて、海外遠征などを含めた、国内外での選手の育成環境の提供と能力強化を支援するための補助をする計画である。

### (ホ) 緊急時防災用品の購入

災害時の緊急対応用品の備蓄を進めており、備蓄した食料、飲料水、衣類など年次的に更新する計画である。

## >>近大姫路大学 学習支援システムの導入

近大姫路大学の教務システムについて、クラウド型の学習支援システムと教職履修カルテシステムを導入する予定である。

## >>学生の就学支援に関する主な事業

- (イ) 看護学部における国家試験（看護師、保健師、助産師）対策は、低学年時からの計画的戦略が必要であり、集中講義ゼミや模擬試験などをきめ細かに開講する計画である。
- (ロ) 教育学部における教員採用試験対策について、集中トレーニング講座などの開講を計画している。
- (ハ) 近大姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学をサポートする事業を計画している。

## >>学術・研究関連事業

- (イ) 近大姫路大学「人文学・人権教育研究所」では、年2回学術雑誌「翰苑」を発行しており、書店にて一般販売している。  
今年度は、「源氏物語を読む」「播磨風土記を読む」など5つの学術講座の開講を予定している。そのほかにも、人権教育講演会、シンポジウムも開講予定である。  
また、「研究所ブックレット」を新たに発行する計画を進めている。

## >>地域貢献等を目的とする主な事業

- (イ) 近大姫路大学では、地域の様々な年代の人との交流を図り、地域への知の貢献を目指すとともに、大学施設の開放も積極的に行うため、「シニアオープンカレッジ」等の開講など事業を計画している。
- (ロ) 豊岡短期大学では、異世代間交流及び地産地消を通しての地域貢献を目指し、短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば 育ちあいのなかまづくり」と但馬・丹後地域の地産地消と食育をテーマとした「和花季ひろば 食のフェア」を計画している。

- (ハ) 豊岡短期大学で毎年開講している公開講座について、本年度は、国内外から著名な音楽家を招き音楽リサイタルを開催する計画である。また、パソコン講座についても、要望の高いエクセル（表計算）講座を中心に開講する予定である。

#### >>地域子育て支援事業

認定こども園の開園に伴い、地域子育て支援事業、スクーリング預かり保育等の支援事業を行う予定である。

### (3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りである。

#### 姫 路

- ① 看護学部マスターコース（大学院）の設置計画



### Ⅲ 財務の概要

#### (1) 予算の概要

##### ① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H27年度予算	H26年度予算(補正)	増 減	平27年度予算概要
学生生徒等納付金収入	3,268,877	3,691,210	△422,333	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	70,171	157,508	△87,337	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	
補助金収入	453,684	478,333	△24,649	・私立大学等経常費補助金他
付随事業・収益事業収入	54,394		54,394	・こども園保育料等
資産運用収入		1,346	△1,346	
受取利息・配当金収入	324		324	・受取利息
事業収入		32,737	△32,737	
雑収入	16,167		16,167	・コピー代等その他の雑収入
雑収入		16,757	△16,757	
前受金収入	425,044	423,084	1,960	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	76,368	77,762	△1,394	・預り金
資金収入調整勘定	△424,923	△520,141	95,218	・前期末前受金
前年度繰越支払資金	2,684,225	2,674,208	10,017	・前期末の現金預金
収入の部合計	6,624,331	7,032,804	△408,473	

支出の部	H27年度予算	H26年度予算(補正)	増 減	平成27年度予算概要
人件費支出	2,034,009	1,886,582	147,427	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	923,296	711,578	211,718	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	442,321	382,692	59,629	・学生募集経費等管理的経費
施設関係支出	2,409,989	1,152,766	1,257,223	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	188,762	126,907	61,855	・機器備品等設備に関する支出
その他の支出	140,913	166,269	△25,356	・前期末未払金の支払等
予備費	30,000	30,000	0	
資金支出調整勘定	△705,002	△108,215	△596,787	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,160,043	2,684,225	△1,524,182	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	6,624,331	7,032,804	△408,473	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

#### ※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科 目	平成27年度当初予算	平成27年度予算概要
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	3,268,877	資金収支予算(案)参照
		手数料	70,171	
		経常費等補助金	453,684	
		付随事業収入	54,394	
		雑収入	16,167	
		教育活動収入計	3,863,293	
		教育活動支出の部	事業活動支出	科 目
人件費	2,051,659			・退職引当金他含 ・減価償却含 ・減価償却含 資金収支予算(案)参照
教育研究経費	1,079,781			
管理経費	481,002			
教育活動支出計	3,612,442			
教育活動収支差額		250,851		
教育活動外収入の部	動事業収入	科 目	平成27年度当初予算	平成27年度予算概要
		受取利息・配当金	324	資金収支予算(案)参照
		教育活動外収入計	324	
	動事業支出	科 目	平成27年度当初予算	平成27年度予算概要
		その他の教育活動外支出	0	
		教育活動外支出計	0	
		教育活動外収支差額	324	
経常収支差額		251,175		
特別収支の部	動事業収入	科 目	平成27年度当初予算	平成27年度予算概要
		その他の特別収入	0	
		特別収入計	0	
	動事業支出	科 目	平成27年度当初予算	平成27年度予算概要
		資産処分差額	614	
		特別支出計	614	
	特別収支差額		△ 614	
	〔予備費〕		(0)	
			30,000	
	基本金組入前当年度収支差額		220,561	
基本金組入額合計		△ 2,007,425		
当年度収支差額		△ 1,786,864		
前年度繰越収支差額		△ 501,457		
翌年度繰越収支差額		△ 2,288,321		
(参考)				
事業活動収入計		3,863,617		
事業活動支出計		3,643,056		

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

### ※ 事業活動収支とは

平成25年4月22日公布の学校法人会計基準の一部を改正する省令により、消費収支は事業活動収支に改正された。

当該会計年度の活動に対応する事業活動の収入と支出の内容及び基本金組入後の収支の均衡の状態を明らかにするものである。企業会計でいうところの損益計算に近いものであるが、学校法人は営利が目的ではなく、収支の均衡を目的としているものである。

## 予算概要の説明

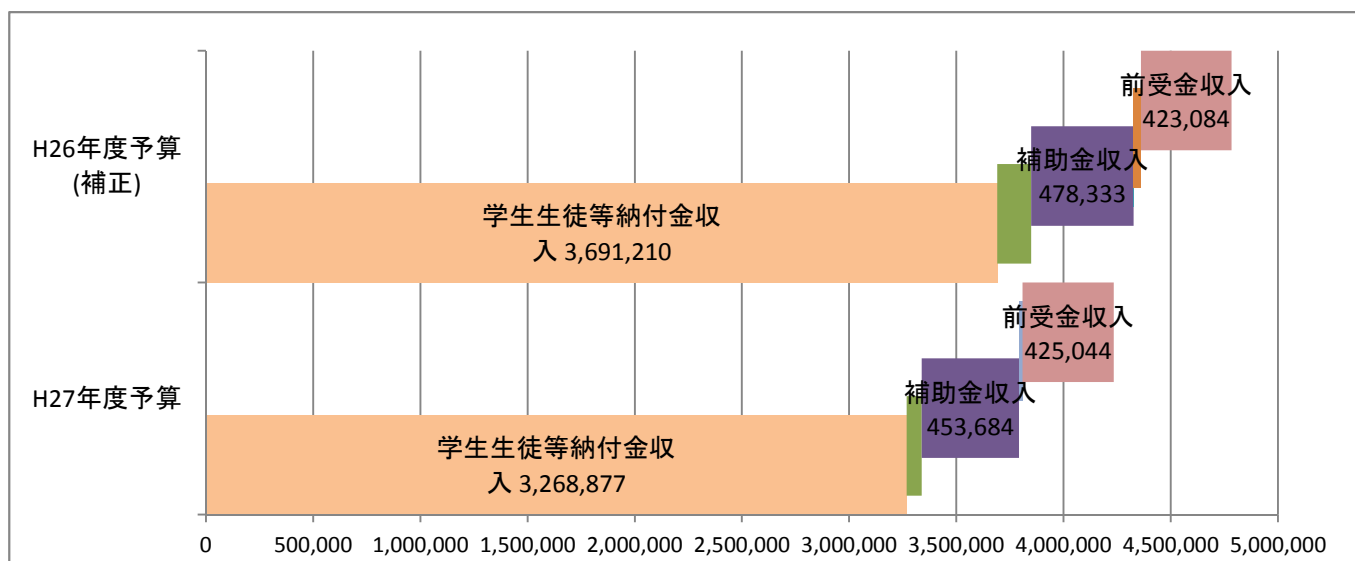
### 資金収支予算について

資金収支予算の収入の部では、前年度予算に比べ学生生徒等納付金をはじめとする収入全体について減少を見込んでおり、その減少幅の大きな学生生徒等納付金の減少要因は、通学及び通信教育にかかる学生の在籍見込数の減少である。

資金収支予算の支出の部では、前年度予算にくらべ、支出増となっている。主な大科目の増減内訳としては、人件費 約1億5千万円増加、教育研究経費支出 2億1千万円の増加、管理経費 約6千万円増加、施設関係支出 約12億6千万円増加、設備関係支出 6千万円増加となっている。人件費の増加要因としては、定昇分の勘案と通信教育の専任教員の増員を予定している為である。教育研究経費の増加については、通信教育の学習システムの変更と教育への還元を積極的に行う予算編成になったためである。施設関係支出と設備関係支出の増加は、近大姫路大学の新2号棟建築に関する支払計画によるものである。

よって、平成27年度末に保有する現金預金の見込金額、いわゆる翌年度繰越支払資金は、11億6千万円と見込まれる。これは、平成25年度決算にくらべ 15億1千万円の減少となり、前年度予算に比べると15億2千万円の減少が見込まれることとなる。

### 資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

## 事業活動収支予算について

事業活動収支予算は、学校法人会計基準の改正により「消費収支予算書」から「事業活動収支予算書」と改正された。この事業活動収支とは、従来の消費収支では経常・臨時的収支の区分は無かったが、最近の臨時・事業外の収支の増加を踏まえて、教育活動収支と教育活動外収支を経常的なもの、特別収支を臨時的なものとして区分経理を導入しているものである。

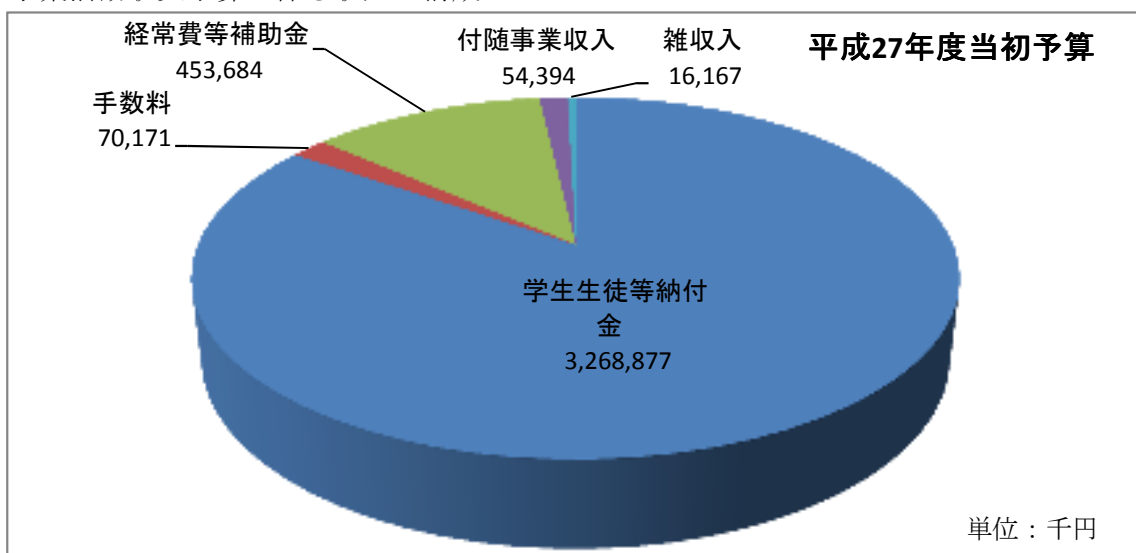
平成27年度の事業活動収支予算における、教育活動収支と教育活動外収支の差額の計である経常収支差額は、約2億5千万円、特別収支差額は約△61万円となり、予備費を加えて、基本金組入前当年度収支差額は、約2億2千万円となる予測である。

基本金を組入した当年度収支差額は、約△17億9千万円の赤字となり、前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、約△22億9千万円となる予測である。

直近の決算までは、当年度の収支差額が黒字であったため、翌年度繰越差額いわゆる累積赤字を順調に圧縮してきたが、近大姫路大学の新2号棟建築など、大型の設備投資が行っているため、基本金の組入額が大きく、累積赤字が増加する予測となっている。

### 構成図①

事業活動収支予算に係る収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

